

# 株主のみなさまへ

第69期中間期のご報告

(平成18年4月1日から  
平成18年9月30日まで)

岡三ホールディングス株式会社

## Ⅰ 会社概要 (平成18年9月30日現在)

商 号	岡三ホールディングス株式会社 (OKASAN HOLDINGS, INC.)
所 在 地	東京都中央区日本橋一丁目17番6号
創 業	大正12年4月4日
設 立	昭和19年8月25日
資 本 金	18,589,682,639円
グループ会社	16社
従 業 員 数	3,029名 (第69期中間連結ベース)
上場証券取引所	東京・大阪・名古屋証券取引所



(本社ビル)

## Ⅰ 目 次

株主のみなさまへ	1
中期経営計画	2
岡三トピックス	3
コーポレートガバナンスの強化	6
財務ハイライト	7
中間連結財務諸表	8
中間財務諸表	10
経営体制	11
株式の状況・株主メモ	12
キーワード	13

## 株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととおよろこび申し上げます。ここに、第69期中間期の事業概況等をご報告するにあたり、ご挨拶申し上げます。

当中間期の株式市場は、前半は円高・原油高等の影響を受けて、日経平均株価が14,000円台まで下落するなど軟調な展開が続きましたが、後半は好調な企業業績が評価され、株価も反発に転じました。しかしながら、昨年末をピークに個人投資家の株式売買シェアは低下傾向が続き、株式リテール営業をメインとする当社にとっては、前期と比較して厳しい経営環境となりました。

このような環境のもと、当社は本年4月より「スーパー・リージョナル証券を目指して」をテーマとした2カ年の中期経営計画を新たにスタートいたしました。地域に根ざした特色ある証券営業の確立を目指し、資産運用サービスの向上に注力し、多様化する資産運用ニーズに的確に応える体制作りを進めております。また、ネット専門証券の設立や富裕層ビジネスの強化など、成長分野にも挑戦し、積極的に経営資源を投入しております。

9月末には投資信託の残高が過去最高の62兆円に達するなど、「貯蓄から投資へ」の流れは加速しております。拡大する証券市場において、今後も一層の収益の拡大と企業ブランドの強化を目指し、お客さまの資産形成への貢献を通じて、岡三グループ全体の価値向上に努めてまいり所存でございます。株主のみなさまにおかれましては、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

平成18年11月



取締役会長

加藤 精一



取締役社長

加藤 哲夫

## Ⅰ 中期経営計画

# スーパー・リージョナル証券を目指して

本年4月、岡三グループの今後の事業展開における指針となる新たな中期経営計画を策定いたしました。本中期経営計画を基に、お客さま・社員・株主のステークホルダーにとって満足度の高い証券会社グループを目指してまいります。

### ■ 店舗リニューアルを加速。新基幹システムも稼動

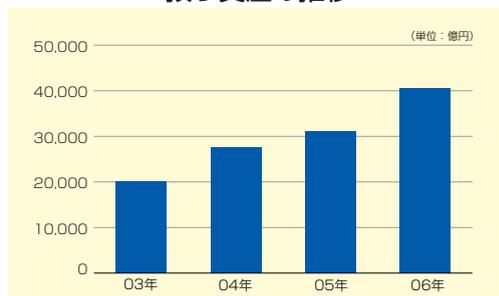
当社は、本年4月をスタートとする2カ年の中期経営計画を策定し、その実現に取り組んでおります。本中期経営計画は、「スーパー・リージョナル証券の完成」をテーマとし、地域に根ざした特色ある証券営業の確立を主目標としております。当中間期におきましては、本中期経営計画に基づき、岡三証券(株)において営業店5店舗のリニューアルを実施し、店舗のレベルアップを図るとともに、中途採用も含めた営業社員の増強に努めました。また、本年9月には新証券基幹システム「ODIN(オーデン: Okasan Database Information Nodeの略)」を本格稼動させ、同システムを用いて岡三証券(株)のオンライントレードサービスを全面的にリニューアルいたしました。

今後とも中期経営計画の実現に向けてグループ一丸となって取り組んでまいります。

### 重点項目の骨子

1. 「対面ビジネス」の強化
2. 「オンライン」ビジネスの強化
3. IT戦略の推進
4. 本社機能の強化

### 預り資産の推移



### 岡三証券(株)、オンライントレードを全面リニューアル

#### ■ さらに便利に、より使いやすくなりました

岡三証券(株)は、9月15日にインターネットを利用した取引サービスである『岡三のオンライントレード』を全面的にリニューアルいたしました。中国株や投資信託、新規公開株(IPO銘柄)など、取扱い商品のラインナップを拡充させるとともに、メールでの約定通知・株価通知サービスなど多彩な新サービスや新機能を追加しました。さらにシニアの方や初心者でも分かりやすいシンプルな動画マニュアルを使用するなど「機能性」と「操作性」の両面で全面的な改善を図っております。

## Ⅰ 岡三トピックス

### ■ 三重大学と産学連携の包括連携協定を締結

#### 三重県初、「産・学・官」による本格的な連携が実現

当社は6月5日、国立大学法人三重大学（学長：豊田長康氏）と産学連携に関する包括連携協定を締結いたしました。協定調印式は、野呂昭彦三重県知事の立会いのもと三重大学三翠会館において執り行われました。

今回の連携協定は、三重県における地域社会の持続的な発展に貢献することを目的としており、三重県のバックアップをいただくことで、県内初の「産・学・官」の本格的な連携となりました。

今後は、本連携協定に基づき7月に設置された連携協議会を中心に、三重県の地域社会の発展に貢献すべく、「新産業創出および地域活性化に関する研究活動」、「地域振興のための学術的活動」、「人材交流」、「寄付講座の開設」など具体的な連携事業を随時実施してまいります。



調印式風景：写真右より三重大学 豊田学長、野呂三重県知事、当社 加藤会長

### ■ 一橋大学大学院に寄付講座を開設

#### 産学連携による商品開発力強化を推進

日本投信委託(株)は、CSR(企業の社会的責任)の一環として、国立大学法人一橋大学大学院国際企業戦略研究科に「日本投信委託企業価値寄付講座」を開設いたしました。

同講座は、企業価値評価とM&A（企業の合併・買収）をテーマに、服部暢達同大学助教授が主に担当し、開設期間は平成18年10月から平成21年9月末までの3年間を予定しています。

日本投信委託(株)では、これまで社会福祉の向上のため信託報酬から寄付を行う地域応援ファンドの設定などCSRに取り組んでまいりましたが、今回の寄付講座開設を契機に、より一層CSRを推進してまいるほか、幅広い学術情報の共有や交換、同研究科との共同作業など、共同研究による成果を運用力強化や新商品開発力の強化につなげてまいります。



寄付講座開設を発表する日本投信委託(株)吉野社長(写真中央)

## ■ 「三重県応援ファンド」一周年記念大会を開催

### 三重県内の児童福祉施設に福祉車両4台を寄贈

日本投信委託(株)が運用する「三重県応援ファンド」が設定一周年を迎えたことを記念して、三重県津市の「三重県総合文化センター」において記念大会を開催いたしました(主催:日本投信委託(株)、共催:(株)第三銀行、岡三証券(株))。

10月4日の大会当日は、県内のファンド受益者約一千名のご参加を賜り、目録贈呈式や運用報告のほか記念講演会が行われました。同ファンドは信託報酬の一部を三重県の社会福祉向上のために寄付することとしており、本年度は県内の児童福祉施設に福祉車両4台を寄贈したほか、当日参加いただいた受益者のご賛同をいただき、三重県の少子化対策を推進する「みえ次世代育成応援ネットワーク」に寄付を行うことといたしました。



写真左上: 寄付目録を野呂三重県知事に贈呈する日本投信委託(株)吉野社長  
写真右下: 記念講演会風景

## ■ 個人情報保護体制の強化を徹底・推進

### OIS、OBSがプライバシーマークを取得

岡三情報システム(株)(OIS)、岡三ビジネスサービス(株)(OBS)の両社は、このたび、財団法人日本情報処理開発協会(「JIPDEC」)よりプライバシーマークの付与認定を受けました。プライバシーマークは、個人情報の適切な保護体制が整備されていると同協会が認めた事業者に対して付与されるものです。

岡三グループ各社では、みなさまの個人情報を適切に保護・管理することを社会的な責務としてとらえ、個人情報の適切な保護に努めてまいりました。その結果、今般の両社のプライバシーマーク付与認定に至りました。

当社グループでは、今後とも個人情報保護体制の強化に取り組み、みなさまからの信頼にお応えできるよう努めてまいります。

#### 【プライバシーマーク認定概要】

	岡三情報システム(株)	岡三ビジネスサービス(株)
業種	情報サービス・調査業	人材派遣・事務代行業
認定年月日	平成18年6月6日	平成18年8月25日
認定番号	第A821366(01)号	第A860885(01)号
有効期間	平成18年6月20日より2年間	平成18年9月8日より2年間

## ■ 岡三証券(株)、地域密着を推進

### 地域に根ざした特色ある証券会社を目指します

岡三証券(株)では、全国の支店・営業所のある地域の方々との交流を大切にし、積極的な地域貢献活動を推進しています。現在、津、鈴鹿、伊勢、伊賀上野、静岡、宇部支店など多数の店舗において、店頭スペースやセミナールームを、地域のみなさまの趣味・展示会・サークルなどの用途に応じて無料でご利用いただけるサービスを行っております。

伊賀上野支店では、「地域のみなさまの憩いの場」として会議室をギャラリーとして無料で開放し、個展や展示会スペースとしてご利用いただいております。7月に行われた地元幼稚園児の作品展や9月に開催した地元写真家による「トンボの詩」写真展では、多くの方々のご来場を賜り、たいへん好評をいただきました。

岡三証券(株)では、これからも地域に根ざした幅広い交流活動を展開してまいります。



(伊賀上野支店)

地元幼稚園児の作品展



「トンボの詩」写真展

## ■ ビューティーアップセミナー開催

### アジア情報館「女性」限定のチャリティセミナー

岡三証券アジア情報館では9月から11月末まで、働く女性のキャリアアップを応援する一環として、『ライフ&マネーのビューティーアップ』をコンセプトにした女性限定のセミナーを開催いたしました。

「美」・「知識」・「癒し」など女性に関心をもたれるタイムリーなテーマを厳選、各界の『プロ』を講師としてお招きし、本物志向を追究したセミナーを実施し、参加者のみなさまからご好評をいただきました。参加費用を全額、カンボジアへのチャリティに寄付いたしました。

同情報館では、これからもさまざまなイベントを企画・開催し、働く女性の未来がますます魅力的で充実したライフスタイルとなるように応援してまいります。



岡三証券アジア情報館ビューティーアップセミナー  
「魅惑のウォーキング・レッスン」の風景

## Ⅰ コーポレートガバナンスの強化

当社ではコーポレートガバナンスの充実を経営上の重要課題の一つとして捉え、経営環境の激しい変化に対応すべく、意思決定の迅速化や、経営監督機能を充実するための各種施策等に取り組んでおります。

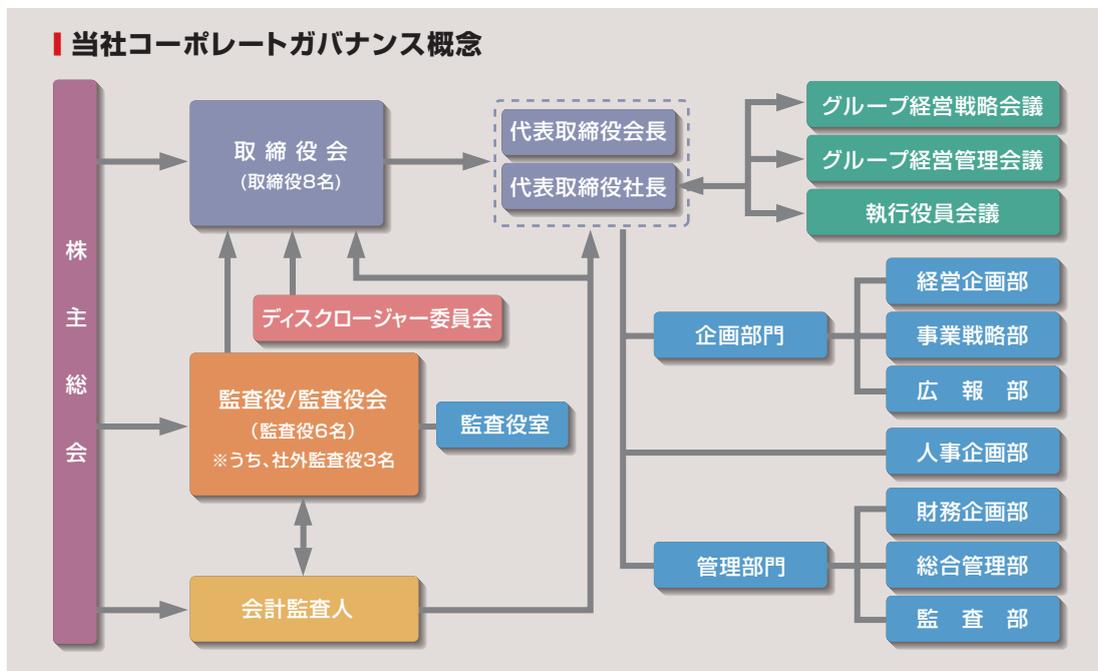
### ■ 執行役員制度を導入および社外監査役3名の招聘。

本年6月より執行役員制度を導入いたしました。取締役会の「経営の意思決定」機能と執行役員による各ビジネスラインの「組織、体制に関する企画、立案」機能を分離し、双方の機能強化を図りました。

また、本年6月には中長期的に持株会社としての役割をより高め、「グループ経営のための本社」機能を充実させるため機構改革を実施し、新たに事業戦略部、広報部、財務企画部、人事企画部を設置しました。

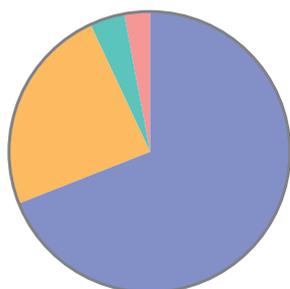
経営の監視体制面では、当社は監査役監査制度を導入しております。監査役の総数は6名（うち、常勤2名）となっておりますが、経営監視機能の強化を図るため、本年6月に社外監査役3名を招聘いたしました。また、監査役の監査活動をサポートするためのセクションとして、6月1日付で監査役室を設置いたしました。

### Ⅰ 当社コーポレートガバナンス概念



# 財務ハイライト

当中間期における当社グループの営業収益は306億43百万円(前年同期比87.0%)、経常利益は36億45百万円(同34.3%)、中間純利益は14億7百万円(同28.9%)となりました。



営業収益

■ 受入手数料	21,150百万円
■ トレーディング損益	7,360百万円
■ 金融収益	1,218百万円
■ その他の営業収益	914百万円

受入手数料の商品別内訳(百万円)



トレーディング損益内訳(百万円)

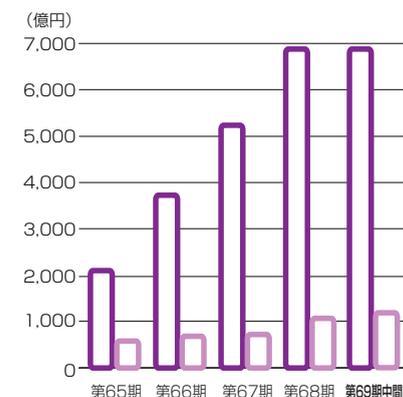


## ポイント

株式市況低迷等の影響から株式委託手数料、株券等トレーディング損益等が減少しました。

一方、外国債券の販売拡大により債券等トレーディング損益が増加したほか、毎月分配型投信の拡販により投信関係手数料は堅調でした。

## 総資産・純資産



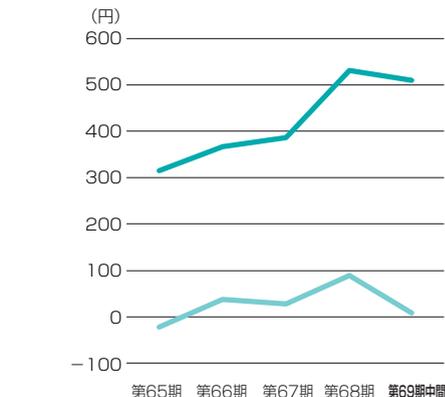
□ 総資産	2,145	3,783	5,296	6,930	6,928
□ 純資産	618	725	762	1,106	1,267

## 経常利益・中間(当期)純利益



■ 経常利益	△ 9	192	112	353	36
■ 中間(当期)純利益	△46	76	55	178	14

## 1株当たり中間(当期)純利益・純資産



■ 1株当たり中間(当期)純利益	△23	37	27	89	6
■ 1株当たり純資産	314	367	387	534	507

# 中間連結財務諸表

## 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当年度中間 (平成18年9月30日)	前年度中間 (平成17年9月30日)
＜資産の部＞		
<b>流動資産</b>	<b>626,780</b>	<b>507,416</b>
現金・預金	37,220	36,091
預託金	23,310	33,415
トレーディング商品	210,091	152,604
約定見返勘定	2,394	4,339
信用取引資産	100,838	93,137
有価証券担保貸付金	235,760	175,561
その他の流動資産	17,163	12,266
<b>固定資産</b>	<b>66,084</b>	<b>60,671</b>
有形固定資産	14,278	14,198
無形固定資産	3,792	1,851
投資その他の資産	48,013	44,622
<b>資産合計</b>	<b>692,865</b>	<b>568,088</b>
＜負債の部＞		
<b>流動負債</b>	<b>536,250</b>	<b>434,423</b>
トレーディング商品	211,601	157,070
信用取引負債	45,002	42,361
有価証券担保借入金	123,742	89,180
預り金	22,900	26,729
受入保証金	17,006	16,765
短期借入金	109,416	93,670
その他の流動負債	6,580	6,646
<b>固定負債</b>	<b>28,838</b>	<b>32,031</b>
長期借入金	11,283	16,700
退職給付引当金	5,965	6,795
その他の固定負債	11,590	8,536
<b>特別法上の準備金</b>	<b>1,064</b>	<b>801</b>
<b>負債合計</b>	<b>566,154</b>	<b>467,257</b>
＜少数株主持分＞		
<b>少数株主持分</b>	<b>—</b>	<b>19,996</b>
＜資本の部＞		
資本金	—	12,897
資本剰余金	—	7,092
利益剰余金	—	54,255
土地再評価差額金	—	230
その他有価証券評価差額金	—	6,952
為替換算調整勘定	—	79
自己株式	—	△ 674
<b>資本合計</b>	<b>—</b>	<b>80,834</b>
<b>負債・少数株主持分・資本合計</b>	<b>—</b>	<b>568,088</b>
＜純資産の部＞		
<b>株主資本</b>	<b>93,779</b>	<b>—</b>
資本金	18,589	—
資本剰余金	12,766	—
利益剰余金	63,276	—
自己株式	△ 854	—
<b>評価・換算差額等</b>	<b>10,769</b>	<b>—</b>
その他有価証券評価差額金	10,370	—
土地再評価差額金	230	—
為替換算調整勘定	167	—
<b>少数株主持分</b>	<b>22,162</b>	<b>—</b>
<b>純資産合計</b>	<b>126,710</b>	<b>—</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>692,865</b>	<b>—</b>

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当年度中間 (自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)	前年度中間 (自平成17年4月1日 至平成17年9月30日)
<b>営業収益</b>	<b>30,643</b>	<b>35,239</b>
受入手数料	21,150	20,809
トレーディング損益	7,360	10,131
金融収益	1,218	933
その他の営業収益	914	3,364
<b>金融費用</b>	<b>978</b>	<b>827</b>
<b>純営業収益</b>	<b>29,664</b>	<b>34,411</b>
<b>販売費・一般管理費</b>	<b>26,328</b>	<b>24,053</b>
<b>営業利益</b>	<b>3,336</b>	<b>10,357</b>
<b>営業外収益</b>	<b>507</b>	<b>484</b>
<b>営業外費用</b>	<b>198</b>	<b>202</b>
<b>経常利益</b>	<b>3,645</b>	<b>10,639</b>
<b>特別利益</b>	<b>189</b>	<b>170</b>
<b>特別損失</b>	<b>138</b>	<b>1,157</b>
<b>税金等調整前中間純利益</b>	<b>3,696</b>	<b>9,652</b>
<b>法人税、住民税及び事業税</b>	<b>485</b>	<b>4,211</b>
<b>法人税等調整額</b>	<b>1,249</b>	<b>△ 199</b>
<b>少数株主利益</b>	<b>553</b>	<b>773</b>
<b>中間純利益</b>	<b>1,407</b>	<b>4,867</b>

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当年度中間 (自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)	前年度中間 (自平成17年4月1日 至平成17年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,094	1,957
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,026	△ 1,137
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 17,659	△ 2,106
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	146
現金及び現金同等物の増加・減少(△)額	△ 5,591	△ 1,140
現金及び現金同等物の期首残高	36,083	32,755
現金及び現金同等物の中間期末残高	30,491	31,615

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 中間連結株主資本等変動計算書

(第69期中間期 平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算差額等	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
平成18年3月31日残高	18,589	12,766	67,287	△ 759	97,884	12,775	22,134	132,793
中間連結会計期間変動額								
剰余金の配当			△5,061		△ 5,061			△ 5,061
役員賞与			△ 356		△ 356			△ 356
中間純利益			1,407		1,407			1,407
自己株式の取得				△ 93	△ 93			△ 93
関係会社に対する持分比率増加による自己株式の変動				△ 0	△ 0			△ 0
中間連結会計期間中の変動額合計	－	－	△ 4,010	△ 94	△ 4,105	△ 2,006	28	△ 6,083
平成18年9月30日残高	18,589	12,766	63,276	△ 854	93,779	10,769	22,162	126,710

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 受入手数料

経済講演会・株式投資セミナー等を積極的に開催し有望銘柄の情報提供や投資提案に努めました。投資信託については、毎月分配型投信など既存ファンドの販売に努め、資産残高の積上げに注力いたしました結果、受入手数料の合計は、211億500万円（前年同期比101.6%）となりました。

### トレーディング損益

国内株式市況低迷の影響により、国内株のディーリング損益（自己売買益）が減少した一方、外国債券の個人向け販売等が増加した結果、トレーディング損益の合計は73億600万円（前年同期比72.6%）となりました。

### 金融収支

金融収益は12億1800万円（前年同期比130.6%）、金融費用は9億7800万円（同118.2%）となり、差引金融収支は2億4000万円（同228.0%）となりました。

### その他の営業収益

証券業および同付随業務に係るもの以外の営業収益は、9億1400万円（前年同期比27.2%）となりました。

### 販売費・一般管理費

人件費の増加等により、販売費・一般管理費は263億2800万円（前年同期比109.5%）となりました。

### 営業外損益および特別損益

営業外収益は5億7000万円、営業外費用は1億9800万円となりました。また、特別利益は1億8900万円、特別損失は1億3800万円となりました。

## 中間財務諸表

### 中間貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当中間期 (平成18年9月30日)	前年中間期 (平成17年9月30日)
<資産の部>		
流動資産	24,666	15,310
固定資産	74,210	68,024
有形固定資産	2,438	2,431
無形固定資産	574	821
投資その他の資産	71,197	64,771
<b>資産合計</b>	<b>98,876</b>	<b>83,335</b>
<負債の部>		
流動負債	6,771	5,193
固定負債	9,242	8,331
<b>負債合計</b>	<b>16,014</b>	<b>13,524</b>
<資本の部>		
資本金	—	12,897
資本剰余金	—	7,092
利益剰余金	—	43,344
その他有価証券評価差額金	—	6,748
自己株式	—	△ 271
<b>資本合計</b>	<b>—</b>	<b>69,810</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>—</b>	<b>83,335</b>
<純資産の部>		
株主資本	72,808	—
資本金	18,589	—
資本剰余金	12,766	—
利益剰余金	41,898	—
自己株式	△ 446	—
評価・換算差額等	10,053	—
その他有価証券評価差額金	10,053	—
<b>純資産合計</b>	<b>82,862</b>	<b>—</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>98,876</b>	<b>—</b>

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 中間損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期 (自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)	前年中間期 (自平成17年4月1日 至平成17年9月30日)
営業収益	3,976	3,157
商標使用料収入	1,293	1,504
不動産賃貸料収入	437	437
資産利用料収入	125	129
その他の売上高	66	66
金融収益	2,052	1,019
営業費用	1,076	968
販売費及び一般管理費	994	900
金融費用	81	68
<b>営業利益</b>	<b>2,900</b>	<b>2,188</b>
営業外収益	239	183
営業外費用	45	32
<b>経常利益</b>	<b>3,094</b>	<b>2,340</b>
特別利益	89	19
特別損失	46	682
<b>税引前中間純利益</b>	<b>3,137</b>	<b>1,676</b>
法人税、住民税及び事業税	266	381
法人税等調整額	148	△ 140
<b>中間純利益</b>	<b>2,722</b>	<b>1,435</b>
前期繰越利益	—	1,784
<b>中間未処分利益</b>	<b>—</b>	<b>3,220</b>

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 中間株主資本等変動計算書

(第69期中間期 平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)

(単位：百万円)

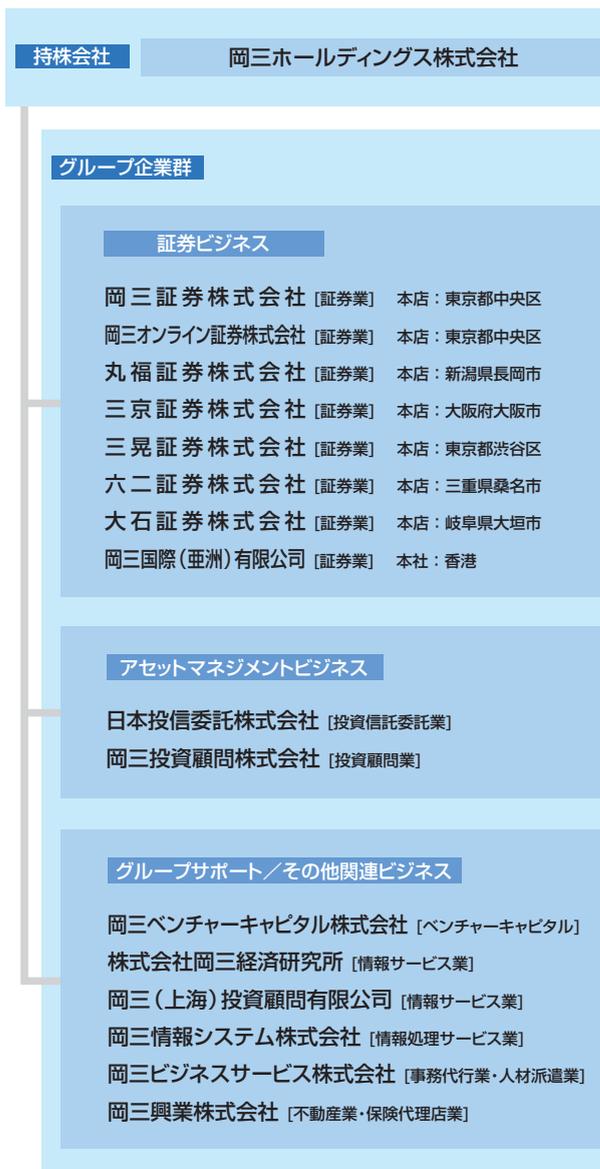
	株主資本					評価・換算差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
平成18年3月31日残高	18,589	12,766	44,555	△ 353	75,559	11,943	87,502
中間会計期間変動額							
剰余金の配当	—	—	△ 5,188	—	△ 5,188	—	△ 5,188
取締役賞与	—	—	△ 190	—	△ 190	—	△ 190
中間純利益	—	—	2,722	—	2,722	—	2,722
自己株式の取得	—	—	—	△ 93	△ 93	—	△ 93
中間会計期間中の変動額合計	—	—	△ 2,656	△ 93	△ 2,750	△ 1,889	△ 4,640
平成18年9月30日残高	18,589	12,766	41,898	△ 446	72,808	10,053	82,862

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間期における剰余金の配当はございません。

# 経営体制 (平成18年11月1日現在)

## 岡三グループ



## 役員

### 岡三ホールディングス株式会社

取締役会長	加藤 精一
取締役社長	加藤 哲夫 (執行役員)
専務取締役	新芝 宏之 (執行役員)
専務取締役	野中 計彦 (執行役員)
取締役	田中 健一 (執行役員)
取締役	金井 政則 (執行役員)
取締役	武宮 健二郎 (執行役員)
取締役	新堂 弘幸 (執行役員)
常勤監査役	朔 浩一
常勤監査役	南 浩典
監査役	丹 泰徳
監査役	平良木 登規男
監査役	浅野 幸弘
監査役	佐賀 卓雄

(注) 監査役 平良木登規男、監査役 浅野幸弘および監査役 佐賀卓雄は、社外監査役であります。

### 岡三証券株式会社

取締役名誉会長	加藤 精一	
取締役会長	加藤 哲夫	
取締役社長	田中 健一	
専務取締役	岩木 徹美*	金井 政則
	野中 計彦	武宮 健二郎
常務取締役	浜田 裕治	山田 賢治
	田中 充	武田 正俊
	古田 省三*	新堂 弘幸
取締役	新芝 宏之	塩屋 公男
	寺山 彰	高松 重之
	小林 雅典	村井 博幸*
	松田 聡	渡辺 正一
	古賀 伸一	国 広 昭彦
常勤監査役	丹 泰徳	
監査役	田岡 洋一	朔 浩一

(注1) \*印は、岡三ホールディングス株式会社の執行役員を兼務しております。

(注2) 常勤監査役 丹 泰徳および監査役 田岡 洋一は、社外監査役であります。

## 株式の状況・株主メモ (平成18年9月30日現在)

### 株式の状況

発行可能株式総数	750,000,000株
発行済株式の総数	208,214,969株
株主数	29,730名

### 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社信託口	13,288	6.48
日本生命保険相互会社	9,800	4.78
住友信託銀行株式会社	9,726	4.75
三菱UFJ信託銀行株式会社	5,753	2.81
大同生命保険株式会社	5,500	2.68
明治安田生命保険相互会社	5,395	2.63
有限会社 藤 精	5,266	2.57
株式会社みずほコーポレート銀行	4,925	2.40
株式会社りそな銀行	4,865	2.37
株式会社三菱東京UFJ銀行	4,848	2.37

### 株主メモ

**決算日** 3月31日(年1回)  
**定時株主総会** 6月中に開催いたします。  
**単元株式数** 1,000株  
**公告方法** 電子公告(当社ホームページに掲載いたします。)  
<http://www.okasan.co.jp/holdings/>  
 ※やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

**株主名簿管理人** 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
 住友信託銀行株式会社

**同事務取扱場所** 東京都千代田区丸の内一丁目4番4号  
 住友信託銀行株式会社 証券代行部

**郵送物の送付先** 〒183-8701  
 東京都府中市日鋼町1番10  
 住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 (住所変更等用紙のご請求)

**0120-175-417**

(その他ご照会)

**0120-176-417**

**同 取 次 所** 住友信託銀行株式会社 全国本支店

### 所有者別持株比率

平成18年9月30日現在



### 株価および出来高の推移(東証・月間)



# key word **キーワード**

## 【上場会社の「株券電子化」】

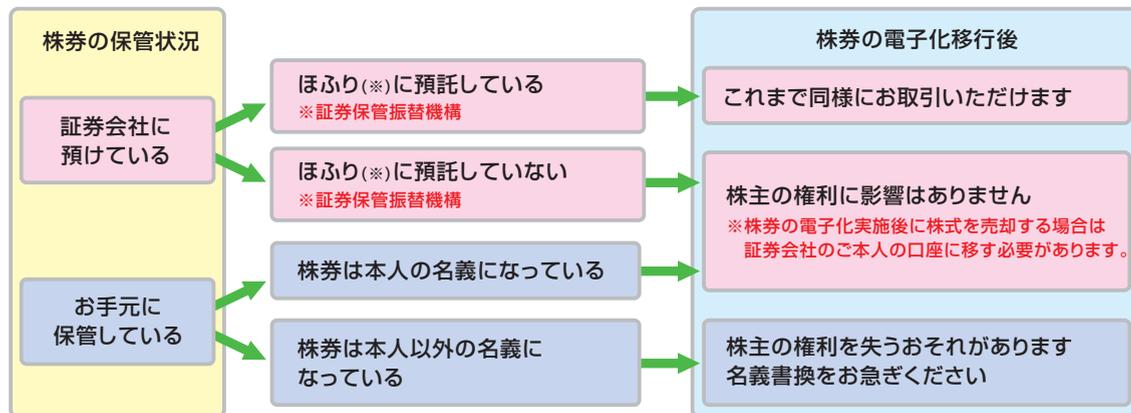
2009年1月実施<sup>(※)</sup>で準備中！株券電子化の対策はもうお済みですか？

上場会社の株券は、2009年1月<sup>(※)</sup>に一齐に電子化（ペーパーレス化）されます。株券の電子化が導入されると、現在発行されている株券はすべて無効とされ、上場会社の株式は、株主名簿・実質株主名簿に記載された名義により管理されることになり、株式を売買するためには証券会社などに開設した口座への移管手続きを行う必要があります。また、お手もとにお持ちの株券がご本人名義でない場合、株券の電子化までに名義

書換を行わないと、最悪の場合、株主としての権利を喪失するおそれがあります。株券電子化の前に株券を証券会社を通じ「証券保管振替機構（ほふり）」にお預けいただくと株券電子化実施後の売却を含め、よりスムーズに新制度に移行できますので、お早めに証券会社を通じ、「証券保管振替機構（ほふり）」にお預けいただくことをお勧めいたします。

**(※) 最終的な実施日は政令で決定されますが、実務界では2009年1月を目標に準備を進めています。**

### 株券電子化チェックシート



株券電子化に関するご相談は最寄りの岡三証券の各営業店または岡三カスタマーセンターまでお気軽にお問い合わせください。



岡三カスタマーセンター  
**0120-390603**  
8:00~18:00 (土・日・祝日除く)

# サービス網のご案内 (平成18年11月13日現在)

## ■ 岡三ホールディングス ■

本店 東京都中央区日本橋1の17の6 03-3272-2222

## ■ 岡 三 証 券 ■

本店 東京都中央区日本橋1の17の6 03-3272-2211

本店東館 東京都中央区日本橋1の20の5 03-3272-2211

岡三証券トレーディングセンター  
東京都江東区平野3の2の12 03-3272-2211

アジア情報館 東京都港区虎ノ門1の4の7 03-5511-7711

札幌支店 北海道札幌市中央区北二条西3の1の8 011-251-3455

仙台支店 宮城県仙台市青葉区中央3の1の24 022-265-1718

勝田支店 茨城県ひたちなか市勝田中央12の15 029-275-3111

大宮支店 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1の7の5 048-644-5841

柏支店 千葉県柏市柏2の6の8 04-7163-4311

千葉支店 千葉県千葉市中央区富士見1の15の9 043-222-8131

浅草支店 東京都台東区雷門2の4の8 03-3844-1717

池袋支店 東京都豊島区西池袋1の18の2 03-3983-5151

新宿支店 東京都新宿区西新宿1の6の1 03-3342-2511

渋谷支店 東京都渋谷区渋谷2の19の15 03-3409-3241

大手町支店 東京都千代田区内神田2の2の6 03-3258-7801

虎の門支店 東京都港区虎ノ門1の3の2 03-3502-1801

大森支店 東京都品川区南大井6の28の11 03-3763-3171

八王子支店 東京都八王子市明神町4の7の15 042-645-2211

横浜支店 神奈川県横浜市中央区尾上町2の27 045-651-1251

沼津支店 静岡県沼津市大手町2の4の1 055-962-1313

静岡支店 静岡県静岡市葵区常磐町1の4 054-251-1331

浜松支店 静岡県浜松市鍛冶町140の2 053-456-2161

恵那支店 岐阜県恵那市大井町201の10 0573-25-2111

名古屋支店 愛知県名古屋市中村区名駅4の2の28 052-582-3431

金山支店 愛知県名古屋市中区金山1の13の6 052-321-1551

刈谷支店 愛知県刈谷市東陽町3の43 0566-21-3232

金沢支店 石川県金沢市香林坊1の2の20 076-262-8811

四日市支店 三重県四日市市諏訪栄町20の11 059-353-1131

鈴鹿支店 三重県鈴鹿市西条4の87の2 059-382-1345

津支店 三重県津市中央6の5 059-226-1511

津支店久居営業所 三重県津市久居新町3002の3 059-256-8777

伊賀上野支店 三重県伊賀市上野東町2922 0595-21-5131

名張支店 三重県名張市平尾2561 0595-63-1511

名張支店桔梗が丘営業所 三重県名張市桔梗が丘5番町2の1 0595-66-4688

松阪支店 三重県松阪市中町6の8の1 0598-21-2552

伊勢支店 三重県伊勢市本町11の1 0596-28-1171

志摩支店 三重県志摩市阿児町鷺方4042 0599-43-5511

尾鷲支店 三重県尾鷲市中村町3の36 0597-22-1515

京都支店 京都府京都市下京区四条通高倉西入立赤西町63の1 075-231-7111

宮津支店 京都府宮津市鶴賀2066の69 0772-22-2166

大阪支店 大阪府大阪市中央区今橋1の8の7 06-6202-1191

梅田支店 大阪府大阪市北区梅田1の1の3-100 06-6345-2951

阿倍野支店 大阪府大阪市阿倍野区阿倍野筋3の10の1-100 06-6631-9331

千里支店 大阪府吹田市津雲台1の2のD9 06-6834-3535

東大阪支店 大阪府東大阪市足代2の3の6 06-6728-1133

堺支店 大阪府堺市堺区熊野町東一丁1の2 072-233-5141

藤井寺支店 大阪府藤井寺市岡2の12の6 072-953-5941

奈良支店 奈良県奈良市本子守町1の1 0742-22-4001

和歌山支店 和歌山県和歌山市八番丁11 073-431-1431

神戸支店 兵庫県神戸市中央区三宮町1の1の2 078-392-5656

姫路支店 兵庫県姫路市十二所前町45 079-222-5961

岡山支店 岡山県岡山市田町1の3の6 086-224-5111

玉野支店 岡山県玉野市築港2の4の12 0863-31-1211

広島支店 広島県広島市中区大手町2の8の4 082-241-9511

宇部支店 山口県宇部市相生町9の7 0836-31-1171

松山支店 愛媛県松山市花園町1の3 089-932-2121

宇和島支店 愛媛県宇和島市錦町3の20 0895-22-5711

福岡支店 福岡県福岡市中央区天神1の12の20 092-751-3434

熊本支店 熊本県熊本市新市街11の18 096-325-7111

ニューヨーク駐在員事務所  
420 Lexington Avenue, Suite 2529  
New York, N.Y. 10170, U.S.A. 212-983-1504

## ■ グループ会社 ■

岡三オンライン証券株式会社 東京都中央区銀座3の9の7 03-3547-0100

丸福証券株式会社 新潟県長岡市大手通1の5の5 0258-35-0290

三京証券株式会社 大阪府大阪市中央区備後町1の7の10 06-6266-0212

三晃証券株式会社 東京都渋谷区代々木2の13の4 03-5371-3111

六二証券株式会社 三重県桑名市中央町1の29 0594-23-6211

大石証券株式会社 岐阜県大垣市栗屋町1 0584-75-3111

岡三国際 ( 亞洲 ) 有限公司  
Unit Nos. 4601-3, 46F,  
The Center, 99 Queen's Road  
Central, Hong Kong 2526-5961~4

日本投信委託株式会社 東京都中央区八丁堀2の26の9 03-3555-3123

岡三投資顧問株式会社 東京都中央区日本橋小網町9の9 03-3665-0505

岡三ベンチャーキャピタル株式会社 東京都中央区日本橋小網町9の9 03-3665-1011

株式会社岡三経済研究所 東京都中央区八丁堀2の7の1 03-3553-3350

岡三 ( 上海 ) 投資顧問有限公司  
S2007 Shanghai Stock Exchange Building,  
528 South Pudong Road,  
Pudong District, Shanghai  
200120, P. R. CHINA 21-6881-1001

岡三情報システム株式会社 東京都江東区平野3の2の12 03-3820-1511

岡三ビジネスサービス株式会社 東京都中央区日本橋1の16の3 03-5203-1581

岡三興業株式会社 東京都中央区日本橋小網町9の9 03-3665-3500

岡三ホールディングス株式会社

<http://www.okasan.co.jp/holdings/>

**R100**  
古紙配合率100%再生紙

再生紙を使用しています。